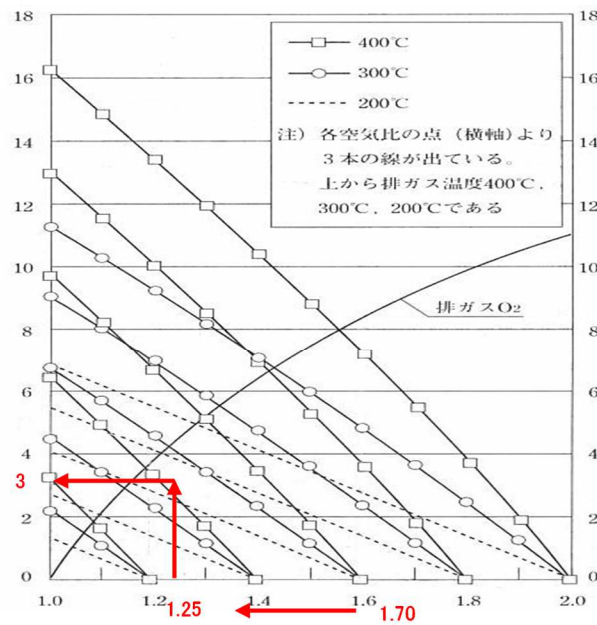


事例 5 熱源設備

ヒアリング、現地確認の事例	助言等のポイント
<ul style="list-style-type: none"> 空気比が高いことを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 燃焼空気が過剰に供給されている場合、燃料が過剰に使用されている。 • 燃焼空気を適正な量に調整することにより燃料使用量の削減になる。 • 燃焼空気量が適正かどうかは「空気比」で確認する。 • 空気比は、排ガス測定結果または熱源設備のメンテナンスレポートに記載されている排ガス中の酸素濃度（%）により以下の式で求める。 $\text{空気比} = 21 \div (21 - \text{排ガス中の酸素濃度} (\%))$ • 空気比は概ね 1.3 程度を目安にし、空気比が高い場合は空気比を低くするように（燃焼空気量を少なくするように）助言する。 • 燃焼空気量の調整はメーカーに依頼することを助言する。

空気比の低減による燃料削減効果



※空気比を1.7から1.25に低減した場合3%の燃料削減になる